

自己評価

自己評価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画
学力の育成	(全校レベル) 1) 規律ある授業の実施に努め 学習態度と意欲の向上に 努める (下位組織レベル) 1) 基礎学力の向上を行う 2) 教科指導の充実とレベルア ヅップを行う	評価指標 1) 生徒の授業満足度調査 80%以上 2) 授業実施時間数の状況調査 1単位27時間以上 3) 生徒の成績状況調査 年2回以上 4) 漢字検定実施状況調査 11回 5級以上 80%以上 5) マナトレ(数学補習)実施状況調査 20回 8級 70%以上 6) 計画的な職員研修の実施状況 研究授業 3回以上 授業力向上職員研修会 1回以上 活動計画 1)-1成績不振者に対するきめ細かな指導に努める。 1)-2追試・補講を実施して強力に指導を行う。 2) 授業時間を集計し授業時間の確保に努める。 3) 実力テストを実施して学力の実態把握を行う。 4) 漢字検定を実施して読み書き力の養成に努める。 5) 数学学び直しを実施して計算力の養成に努める。 6)-1年間指導計画を作成し、効果的な教育内容の構築を図る。 6)-2教職員研修計画を作成し、指導力の向上を図る。
学力の育成	(全校レベル) 1) 読書力の向上を図る。 (下位組織レベル) 1) 図書委員をはじめ、生徒主 体の読書啓発活動に努める。 2) 読書環境の充実に努める。 3) 「読書の日」を設け意識の 向上を図る。	評価指標 1) 校内図書館の読書冊数の増加率 7%以上 2) 図書委員の読書・図書館利用の啓発運動を実施 10回以上 3) 蔵書数の増加率 5%以上 4) 図書室通信の発行 年7回以上 5) 「読書の日」の実施 年10回 6) 購入希望図書アンケートの実施 年8回 活動計画 1) 読書の日を毎月1回設定し、教職員や生徒に本を選定してもらおう。 2) 図書委員に役割をもたせ、図書館の広報活動や、新刊図書の紹介を行 う。また、生徒の本の紹介コーナーなどをつくる。 3) 生徒のニーズにあった図書を購入し、蔵書の充実に努める。 4) 図書だよりを通して、新刊図書など最新の情報を提供する 5) 推薦図書コーナーの充実に努める。 6) 購入希望図書アンケートをもとに購入した本のコーナーを設置する。
生活力の育成	(全校レベル) 1) 基本的な生活習慣の確立を 図る。 2) 生命尊重の意識の高揚と交 通事故の撲滅を図る。 (下位組織レベル) 1) 保護者との連携を密にし、 相互理解の上で指導の充実 を図る。 2) 遅刻・欠席指導の徹底を図 る。 3) 身だしなみ指導の徹底を図 る。 4) 登下校指導を行う。 5) 交通安全指導の徹底を図 る。	評価指標 1) 家庭訪問実施回数 50回未満 2) 遅刻者率 0.5% 3) 身だしなみ指導者率 10% 4) 車両定期点検の実施回数 5回以上 5) 交通事故加害者数 0人 6) いじめ問題件数 0件 活動計画 1) 修学困難生への家庭訪問を実施する。 2)-1遅刻カードを使い確実に遅刻者を指導する。 2)-2無断遅刻・無断欠席数調査を月末集計し、多い者への改善指導を徹底 する。 3) 毎月初めに頭髪・服装等身だしなみ検査を実施して指導を徹底する。 4)-1車両登録をさせ、学期初めと学期終わりに安全点検と学期毎に集会を 行い交通事故を未然に防ぐ。 5)-1免有者に対して視聴覚教材を用いた指導を行う。 5)-2登下校指導計画を作成し指導を行う。(あいさつ、遅刻、服装) 5)-3教職員一斉による通学路の危険箇所における交通安全指導を行う。 6)-1いじめ問題の早期発見を行う。(アンケート調査の実施) 6)-2いじめ問題の早期解決を行う。(事後指導の確認)

<p>生活力 (ソーシャルスキル)の育成</p>	<p>(全校レベル) 1)教育相談活動の充実と生徒支援に努める。 2)生徒一人一人を理解し、個々の生徒のニーズに応じた支援を進める</p> <p>(下位組織レベル) 1)教育相談体制(特別支援を含む)の充実を図る。 2)生徒理解を進めるために各種検査を効果的に実施する。 3)特別支援教育職員研修の充実を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)教育相談体制の充実 教育相談日を設けカウンセリングを行う。30日(回) 2)各種検査(教研式高校知能検査・学級満足度調査QU)による生徒理解(各学年) 3)職員研修における職員の満足度 アンケートで2/3以上が満足</p> <p>活動計画</p> <p>1)教育相談日を設けカウンセリングを行う。次のことに配慮する。 ①教職員への親しみやすさ ②教職員との信頼関係 ③教職員との相談の満足 2)-1各種検査を実施し生徒の困難さに気づき、問題を把握し、問題解決に向けて取り組む。 2)-2それぞれの生徒の能力を把握し、基礎学力向上に向けた取組を行う。 3)職員研修を1学期・2学期に実施する。</p>
<p>人権意識の高揚</p>	<p>(全校レベル) 1)道徳教育と関連させ人権尊重の精神を基盤とした教育活動に努める。 2)日々の生活や研修等を通じ、教職員自身の人権意識の向上に努める。</p> <p>(下位組織レベル) 1)人権教育ホームルーム活動の充実を図る。 2)「学校人権の日」の取組の充実を図る。 3)人権教育教職員研修の充実を図る。 4)道徳教育ホームルーム活動の充実を図る。 5)いじめ防止等に関する具体的な取組を行う。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)「人権学習ホームルーム活動」実施回数5回・生徒の充実度 90%以上 2)「学校人権の日」における生徒の充実度 90%以上 3)人権教育教職員研修・年3回以上実施。校外人権教育研修等に全教職員、1回以上参加 4)道徳教育ホームルーム活動を年間2回実施。各学期、道徳教育週間5日間実施。 5)学校生活アンケート毎学期実施・生徒の満足度100%</p> <p>活動計画</p> <p>1)人権教育課とホームルーム担任との連携で教材を作成し、ホームルーム活動の充実と推進を図る。 2)人権委員会(生徒)が主体的に「学校人権の日」を運営する。当日の啓発の中心となるよう人権委員の事前指導を行う。毎回ふり返しシートを実施する。 3)講義形式による研修のほかに、ワークショップ形式や視聴覚教材等も利用した研修を行い充実を図る。 4)道徳教育の視点を全教職員に提示し道徳教育週間を実施する。 5)いじめ未然防止・早期発見への取組を充実させるとともに、各学年・各課との連携により組織的な対応を図る。</p>
<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル) 1)特別教育活動の充実を図る。</p> <p>(下位組織レベル) 1)ホームルーム活動の活発化を図る。 2)各種専門委員会活動の推進を図る。 3)生徒会活動・部活動の活性化を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)ホームルーム活動満足度 85%以上 2)生徒会の活動状況 学校行事の満足度 90%以上 3)各種専門委員会の活動状況 年間活動回数 6回以上 4)部活動の加入状況 80%以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)よりよい人間関係づくりに努める。 2)-1生徒会活動の活性化を図り活動計画を作成し充実に努める。 2)-2前日祭実行委員会の活動の充実に努める。 3)各種専門委員会の活動の充実に努める。 4)部活動の充実に取り組む。</p>
<p>生活力の育成</p>	<p>(全校レベル) 1)環境教育の推進を図るために、三好高校エコスクールの推進と新学校版環境ISOの推進を実践する。 2)学校防災教育の推進を図るとともに、地域防災との連携を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)新学校版環境ISOの総合評価レベル15以上 ①美化活動・エコ活動の達成度 90%以上 ②節電昨年度比 10%減少 廃油の公用車等への利用 100% 2)学校防災の実践活動における実施時数 6時間以上 ①HRにおける防災・救急救命学習時間の実施 100% ②防災避難訓練実施 校内1回、地域との連携活動1回以上</p> <p>活動計画</p> <p>1) ①-1校内外の清掃美化実践をする。 ①-2施設設備の補修等即対応する。</p>

生活力の育成	<p>(下位組織レベル)</p> <p>1)校内外の美化活動を推進する。</p> <p>2)省エネルギー・リサイクル運動を推進する。</p> <p>3)防災学習の充実</p> <p>4)防災訓練の充実</p> <p>5)環境防災委員会を設置し教職員生徒の防災意識向上及び防災リーダー育成を行う。</p>	<p>①-3ゴミの分別100%を目指す。</p> <p>②-1エコキャップ・廃食油の回収と活用を実践する</p> <p>②-2毎月の電気使用量についてデータを配布する。</p> <p>②-3こまめな消灯の徹底など啓発活動を行う。</p> <p>2)</p> <p>①-1防災学習をして意識を高める。</p> <p>①-2救急救命の適切な指導をする。</p> <p>②-1有事の際に対応できる防災避難訓練を計画。</p> <p>②-2災害発生時の生徒・職員の生命・身体の安全を確保を目的とした防災研修を実施する。</p> <p>②-3地域との連携を図り，合同訓練の実施を計画・実践する。</p>
生活力の育成	<p>(全校レベル)</p> <p>1)生徒一人一人が健康で安全な学校生活をおくる保健厚生への取組の充実を図る。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)個々の健康管理を支援する。</p> <p>2)健康教育の充実に努める。</p> <p>3)性に関する指導を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)保健室利用状況 前年度以下</p> <p>2)保健関係ホームルーム活動 各学年・年2回以上</p> <p>3)保健だよりの発行 年10回</p> <p>4)①健康状態の把握 80%以上 ②疾病やけがの手当等の理解度 80%以上</p> <p>5)性に関する指導の理解度 80%以上</p> <p>6)救命救急法等の研修実施 年1回以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)生徒の実態に応じた保健指導を行うとともに，保健室の利用について指導を行う。</p> <p>2)健康教育ホームルーム活動，性に関するホームルーム活動を計画的に実施する。</p> <p>3)学校ホームページや生徒への配布物を通して，健康に関する情報発信を行う。</p> <p>4)生徒の健康課題や保健室の実態を保健指導に生かし，生活の改善を図る。</p> <p>5)各学年において系統的な性に関する指導を実施するため，年間計画を策定し，関連する各教科と連携を図る。</p> <p>6)救命救急への適切な指導を行う。</p> <p>1)～6)学校保健・安全計画を作成し，計画的な指導を行う。</p>
キャリア教育	<p>(全校レベル)</p> <p>1)一人一人の生徒の能力適性を生かした進路の実現のための進路指導・キャリア教育を推進する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)生徒の進路希望の把握と進路意識の高揚に努める。</p> <p>2)進路情報の提供を丁寧に継続的に行う。</p> <p>3)事業所・進学先・ハローワーク・市役所等との連携に努める。</p> <p>4)生徒の学力の実態把握に努め，学力向上を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)3年生進路内定率 100%</p> <p>2)2年生終了時の進路希望未定者 0</p> <p>3)進路希望調査 年間2回以上</p> <p>4)面接回数 一人あたり3回以上</p> <p>5)進路ホームルーム活動 年間3回</p> <p>6)進路説明会の満足度 80%以上</p> <p>7)事業所訪問 30社以上</p> <p>8)進路補習への参加率 80%以上</p> <p>9)マナトレ実施状況 ①実施回数 20回以上，②7級合格率 70%以上</p> <p>10)効果的な進路講演会の実施 3年生3回(4, 6, 12月)</p> <p>活動計画</p> <p>1)個人・三者面談等を積極的に企画。3学年団との協力を密にする。</p> <p>2)面談の結果から進路指導の基礎資料を作成する。</p> <p>3)定期的に進路希望調査を行う。</p> <p>4)効果的な面接方法についての資料提供等を行う。</p> <p>5)3年間の系統的なホームルーム活動を実施する。</p> <p>6)効果的な進路説明会を学年団と検討する。</p> <p>7)従来からの関係事業所同様，新規事業所への開拓にも力を入れる。</p> <p>8)公務員模試・適性検査等を実施し進路意識を高める。</p> <p>9)マナトレ学習帳を各自使用し，個々の学習進度に応じたトレーニングに励ませる。</p> <p>10)適切な時期に適切な話をしていただける講師を探し，生徒の心に訴えるような講演会を企画する。</p>

<p>キャリア教育</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)特色ある農業教育の推進を図る。</p> <p>2)地域産業の担い手育成に関する地域連携を推進する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)地域連携の推進を図る</p> <p>2)教職員の資質向上を図る</p> <p>3)資格取得の推進を図る</p> <p>4)農業クラブ活動の活性化を図る</p>	<p>評価指標</p> <p>1)課題研究成果の充実 (4研究以上)</p> <p>2)農業科授業研修の実施 年間3回</p> <p>3)学校開放講座参加者の満足度 100%</p> <p>4)農業技術検定合格率 80%以上</p> <p>5)学校農業クラブでの成果 県予選3種目以上入賞</p> <p>6)地域と連携した取組の推進 年間40回以上</p> <p>7)授業に対する生徒の満足度 80%以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)-1ホンモロコ・ホンシメジの普及活動を推進する。</p> <p>1)-2サギソウの増殖活動を推進する。</p> <p>1)-3中山間地におけるイチゴの栽培研究</p> <p>2)教職員の資質向上を目的とした授業研修を実施する。</p> <p>3)学校開放講座の実施により、地域連携・開かれた学校作りを推進する。</p> <p>4)農業技術検定に対応した補習体制を構築する。</p> <p>5)生徒の意識の高揚を図り、学校農業クラブ活動を活性化する。</p> <p>6)科目「地域貢献」の適正な活動計画と内容の充実を図る。</p> <p>7)実習ノートを活用し、実習科目の充実を図る。</p>
<p>商業教育の充実・発展</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1))生徒一人一人の理解力と興味・関心に応じた授業の工夫により生徒の学習に対する意欲を高めると同時に社会に巣立つ人づくりを意識した学習を充実させる。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる</p> <p>2)各種検定・資格の取得を積極的に推進する。</p> <p>3)実践的・体験的学習を充実させる</p> <p>4)マナー教育を充実させる。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)授業の中でマナー教育の充実を図る。 週1回以上</p> <p>2)授業評価による生徒の授業満足度 85%以上</p> <p>3)3年生の3種目以上1級検定合格率 50%以上</p> <p>4)販売実習の実施 5回以上</p> <p>5)競技会の全国大会出場 3大会</p> <p>活動計画</p> <p>1)オリエンテーションで生徒の意識を高め、効果的な指導を行う。特に事業所で必要とされる人材をつくるという意識を持って、本校最後の商業科における生徒づくりに励む。</p> <p>2)生徒の実態にあった授業を展開する。</p> <p>3)検定前補習や個別指導を適宜行う。</p> <p>4)校内販売所、東西祖谷での実習に伴う出店を計画・実行する。</p> <p>5)各種競技会に向けて選手の競技力向上を図る。</p>
<p>開かれた学校づくりの推進</p>	<p>(全校レベル)</p> <p>1)教育活動の公開及び情報発信により本校教育への理解と関心を高める</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>1)小中学校へ情報発信(異校種間連携)を行う。</p> <p>2)地域社会との連携による諸行事に参加し学校の活性化に取り組む。</p> <p>3)学校Webページを活用して情報発信に努める。</p> <p>4)PTA活動の活性化に取り組む。</p>	<p>評価指標</p> <p>1)学校Webページの情報発信状況 年間50回以上</p> <p>2)本校行事等に対する報道機関等の取材回数 20回以上</p> <p>3)文化祭(楓祭)での来校者の満足度 70%以上</p> <p>4)学校開放講座の参加者の満足度 100%</p> <p>5)保護者の学校行事等への参加状況 年間100人以上</p> <p>活動計画</p> <p>1)担当者との連携を図る。</p> <p>2)-1幼稚園、小学校に食農教育の教材の提供を行う。</p> <p>2)-2地域の文化祭等の催し、行事に参加をして本校教育への理解を図る。</p> <p>3)楓祭において、販売・展示の充実を図る。</p> <p>4)体験入学、開放講座などを実施して本校教育への理解を図る。</p> <p>5)役員会等の活性化を図り、参加者の増加を進める。</p>